

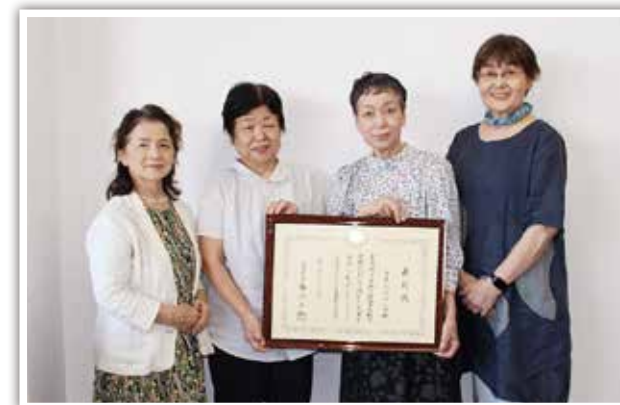
読み聞かせ活動

おはなし会の声を聴きました

ボランティア団体「須恵おはなし会」は、33年間、須恵町の幼稚園や幼児園、小中学校や地域において読み聞かせ活動を実施されています。その活動が評価され、令和6年4月23日国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、子どもの読書活動優秀実践団体として文部科学大臣表彰を受賞されました。



皆さんの想いを語っていただきました。



文部科学大臣表彰の賞状とともに

子ども達に おはなし

の夢を届けたい

書記 喜多村 富久美 さん

小さい頃に参加していた子が母となり、子どもを連れて図書館に来てくれて、とても嬉しいです。

代表 三丸 佐代子 さん

おはなしを語りに行って、毎回、子ども達からたくさんの元気をもらって帰ってきます。

会計 百田 公子 さん

おはなしの時に、子ども達の目を見ながら「みんなの心と耳で聞いてください。」と語りかけます。

いちやなぎ 柳 より子 さん

小さい頃、祖母の昔ばなしで育ちました。本の読み聞かせで、子どもと親の心が一つになります。

発足は？

■ いつから活動されていますか。

〈おはなし会〉

平成4年(1992年)1月17日、会員各自の子育てを通して子どもたちに良い絵本を届けたいという仲間が集い「須恵おはなし会」が発足しました。

〈おはなし会〉

平成7年(1995年)図書館開館と同時に毎月第二土曜日のおはなし会を開催。今年10月で337回となります。また、会員の一人は図書館司書として、良書を図書館に入れてきました。年齢によって推奨する本のリストも作成しています。

組織の体制は？

■ 組織の体制はどうなっていますか

〈おはなし会〉

9人で立ち上げましたが、現在5人で活動しています。

〈おはなし会〉

33年前のメンバーが、3人、残っています。

活動目的は？

■ 活動の目的は何ですか

〈おはなし会〉

『いい本を子ども達に届けたい。いい本を選ぶ目を、養ってほしい。デジタル化が進む社会ですが、「本」の持つ力、「物語」の持つ力を伝えたい』との思いが、活動の目的です。

活動内容は？

■ どのような活動をしていますか。

〈おはなし会〉

幼稚園・保育園、小・中学校の読み聞かせを令和5年度は年間176回、のべ8300人に行いました。

〈おはなし会〉

小学校は45分の授業の中で、中学校は10分の朝読書に各クラスに入っています。幼稚園や保育園は30分で読み聞かせなどを行っています。

〈おはなし会〉

つくしんぼでも読み聞かせを行っています。パネルシアターやペープサートなども行っています。

良質な本とは？

■ ほんの良いところは、どんなところですか

〈おはなし会〉

本を読むことで、自分で想像して、冒険していきます。心が冒険して、その子どもの経験になっていくんです。

〈おはなし会〉

例えば、桃太郎の物語を数人で聞いても、みんなが同じ桃太郎ではなく、それぞれの桃太郎を考えていて、空想しているんです。

課題は？

■ 活動するにあたり、課題はありますか。

〈おはなし会〉

後継者がいないのが課題です。



集中して、おはなしを聞く子ども達

議会への要望は？

■ 要望を伺います

〈おはなし会〉

子ども達だけでなく、大人に本の話やおはなし(昔話など)を語る機会があれば良いと思っています。

〈おはなし会〉

今の活動が続くように、今後も学校での読み聞かせの時間を確保してほしいです。

良書を子どもたちに

須恵町の図書館には、絵本・児童書の良書が多いと言われます。今回の座談会で、おはなし会の皆様は、33年にわたり、良書を普及啓発して頂いたおかげだと感謝いたします。テレビは、見ているだけで流れていきますが、本は疑似体験ができます。子ども達がたくさんの本を読むことで、たくさんの経験をしてほしいと思います。議会としても、良書にふれる環境づくりに協力してまいります。